

「 岐阜県発日本一、世界一 ~10月~ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第63回国民体育大会(大分)						
ホッケー	少年女子	1位	H20.10.1	岐阜 (岐阜各務野高)		決勝戦前半は動きが硬く、調子がかめず苦しんだが、後半に入り、リズムを取り戻すと、終盤で連続2得点を決め、2-0で岩手選抜に快勝し、2年連続21度目の優勝を決めた。 (大分県玖珠郡玖珠町:メルヘンの森スポーツ公園ホッケー場)
	成年女子	1位	H20.10.1	岐阜選抜		広島選抜との決勝戦では、前半に先制すると、そのままリードを守り切り、1-0で勝利し、2年ぶり22度目の優勝を決めた。 (大分県玖珠郡:九重町活きいきランド多目的グラウンド)
レスリング	少年男子 グレコローマンスタイル50kg級	2位	H20.10.1	桑木 黎 (岐南工高3年)		1回戦はフォール勝ち、2回戦は不戦勝、それ以降は順当に勝ち上がったが、決勝では善戦したものの、田野倉(東京)から得点することが出来ず、2位となった。 (大分県佐伯市:佐伯市総合体育館)
自転車	少年男子 ポイントレース(24km)	1位	H20.10.1	丹羽 泰雄 (岐南工高3年)		後半残り30周で一気にスパートをかけ、そのまま主導権を握ると2位以下に大差をつけ、見事頂点に立った。 (大分県別府市:別府競輪場)
	少年男子 ケイリン	2位	H20.10.1	岩瀬 拓真 (岐南工高3年)		最終周回に最終コーナーをトップで上がったが、ゴール直前で末木(山梨)に抜かれ、惜しくも2位に終わった。(同上)
	男子 4km団体追抜き	3位	H20.10.2	岐阜選抜 川西 貴之 井関 太一 高橋 翔太 吉田 茂生		終盤勝負の必勝パターンで川西、高橋が猛ダッシュで勝負に出るとそのまま大分選抜を引き離し、4秒の大差をつけて快勝した。(同上)
卓球	成年女子	2位	H20.10.2	岐阜 (十六銀行)		準々決勝では2時間半を超える激戦。準決勝では3-2と接戦を制しての決勝進出であったが、1番手の挟間が勝利したものの、後が続かず3-1で茨城に敗れた。しかし、一戦ごとに成長が見られる価値のある準優勝であった。 (大分県杵築市:杵築市文化体育館)
ライフル射撃	成年女子 ビーム・ライフル射撃60発	1位	H20.10.3	森 貴誉乃 (平野総合病院)		予選の60発で637.3点を記録し、1位で決勝に進出。決勝の10発でも安定した試合運びで高得点を連発し、総合得点743.3点で本大会3連覇の快挙を成し遂げるとともに、日本新記録を更新した。 (大分県由布市:由布市立東庄内小学校体育館)
	少年女子 10mエア・ライフル立射40発	1位	H20.10.4	清水 綾乃 (済美高3年)		予選トップで通過したものの、納得のいかないスタートとなった。しかし、気持ちを切り替えて臨んだ決勝では見事な集中力で点数を伸ばし、自身の持つ大会新記録を更新し、2連覇を達成した。 (大分県由布市:大分県立庄内屋内競技場)
	少年女子 10mエア・ライフル立射20発	2位	H20.10.6			満射を狙って臨んだ同種目であったが、トータル197点の同点者が2名並んだ。結局、10点的中数差により、勝敗が決まり、2年連続の2位となった。しかし、競技別皇后杯獲得に大きく貢献する活躍であった。(同上)

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
ライフル射撃	成年男子 センター・ファイア・ピストル30発	3位	H20.10.4	道家 祐一 (岐阜県警)		安定した射撃で、自己ベストに迫る287点をマークし、上位3名が同点で並ぶ接戦となったが、その後の競射で県警初となる3位入賞を果たした。 (大分県大分市:大分県警察学校射撃場)
	少年男子 ビーム・ライフル立射60発	3位	H20.10.4	山田 直樹 (郡上北高3年)		予選から安定した射撃で3位で決勝に臨んだが、その後も緊張することなくペースを維持し、合計696.7点で3位を守った。 (大分県由布市:由布市立東庄内小学校体育館)
	成年女子 10mエア・ライフル立射40発	2位	H20.10.5	今井 尚子 (東京リーガルマインド)	済美高卒	予選ではトップに3点差をつけられての2位スタートであった。決勝で驚異の追い上げを見せたが、わずか0.1点及ばず惜しくも2位となった。 (大分県由布市:大分県立庄内屋内競技場)
陸上競技	成年女子 400m障害	2位	H20.10.4	青木 沙弥佳 (福島大4年)	県岐阜商高卒	前日の予選をトップで通過し、決勝でもスタートから快調に飛ばし、日本学生記録、大会記録、自己ベストを一気に塗り替える会心の走りで堂々の2位に輝いた。 (大分県大分市:大分スポーツ公園九州石油ドーム)
	成年男子 走幅跳	3位	H20.10.5	品田 直宏 (濃飛倉庫運輸)		6月のケガの影響で、調整が遅れての出場であった。序盤、調子がかめず本来の跳躍が出来ず苦しんだが、途中で調子を取り戻すと、徐々に記録を上げ、3位に食い込んだ。(同上)
第16回全日本社会人男子新体操選手権大会						
男子1部団体総合		1位	H20.10.5	アルフレッサ日建産業 <ul style="list-style-type: none"> └ 廣田 照喜、森澤 翔 └ 島守 豊、三角 彰裕 └ 有沢 一希、下村 大悟 		選手全員が大きなミスなく演技し、18,575点で創部3年目にして初の優勝を飾った。また個人でも有沢がスティック、リング、ロープの3種目で1位を獲得し、個人総合36,750点で初優勝した。 (岐阜県岐阜市:岐阜メモリアルセンター)
男子1部個人総合		1位	H20.10.5	有沢 一希 (アルフレッサ日建産業)		
第3回テコンドーワールドカップ						
女子・型(12~14歳以下初段の部)		1位	H20.10.16	伊藤 麻莉子 (加納中2年)		小学校2年生からの努力が実を結び、今大会、金・銅あわせて2個のメダル獲得となった。 (イタリア:リバ・デル・ガルダ)
女子・組手(12~14歳以下初段の部)		3位				
08日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会						
男子ユース800m		3位	H20.10.18	小森 大輝 (岐阜高専2年)		記録は1分53秒90であったが、2位と僅か0.02秒差で惜しくも3位となった。 (鳥取県鳥取市:コカ・コーラ ウェストスポーツパーク陸上競技場)
男子ユース三段跳		3位	H20.10.18	佐脇 匠 (大垣南高3年)		14m台の安定した跳躍を重ね、14m53で3位入賞を決めた。(同上)
男子ユース砲丸投		2位	H20.10.19	山元 隼 (大垣工高2年)		16m45をマークし、大会記録と自己記録を合わせて更新した。(同上)
女子ジュニア走幅跳		3位	H20.10.19	吉田 麻佑 (福岡大1年)	県岐阜商高卒	6回目の最終跳躍で記録が伸び、5m84で3位に食い込んだ。(同上)
平成20年度日本ワイルドウォーター選手権大会 男子カヤックシングル(1500m)		1位	H20.10.19	渡辺 正浩 (トヨタカローラ岐阜)		4分54秒07をマークし、優勝を決めた。大分国体に次ぐ優勝で日本ナショナルチーム入りが決定した。 (新潟県三条市:八木ヶ鼻特設スラローム・ワイルドウォーター会場)

その3

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第26回全日本ジュニア新体操選手権大会 兼 ジュニアオリンピックカップ 女子個人総合	1位	H20.10.19	佐々木 アヤ香 (NPOぎふ新体操クラブ)		4種目中のうちフープ、ボールの2種目でトップを獲得。緊張することなく柔軟性を生かした優美な演技で総合51,300点を記録し、見事初優勝に輝いた。 (東京都渋谷区:国立代々木第一体育館)
女子第30回全日本社会人ホッケー選手権大会	1位	H20.10.22	ソニー宮		後半2分、PCによる得点から流れが好転すると、その後も加点し、2 - 0で南都銀行を抑え、見事3年連続18回目の優勝を決めた。 (新潟県新潟市:城山運動公園多目的広場)
2008アジア・ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会 カデ個人女子フルーレ	3位	H20.10.25	安田 有希 (羽島北高1年)		国際舞台でも、持ち前の勝負強さを発揮し、見事3位を獲得した。 (韓国:ヤング市)
SBC杯第15回全日本スピードスケート 距離別選手権大会 男子1000m	3位	H20.10.26	中嶋 敬春 (十六銀行)		今シーズン初の大会で1分11秒90をマークし、3位での好スタートを切った。 (長野県長野市:長野市オリンピック記念アリーナ エムウェーブ)
第39回ジュニアオリンピック陸上競技大会 B女子走幅跳	3位	H20.10.26	中村 光希 (小坂中2年)		2位に5cm差と迫る5m36の記録を出し、3位に食い込んだ。 (神奈川県横浜市:日産スタジアム)
第92回日本陸上競技選手権リレー競技大会 女子4×400mリレー	3位	H20.10.26	福島大 武藤 奈々、渡邊 梓 千葉 緑、青木沙弥佳		9連覇を目指して臨んだ本大会であったが、強豪ナチュリルの勢いを止めることが出来ず、惜しくも準優勝となった。(同上)
スノーボードFISワールドカップ ザースフェー大会 女子ハーフパイプ	2位	H20.10.31	中島 志保 (桃源郷クラブ)	養老町出身	39.7点をマークし、9月の開幕戦優勝について、今大会2位入賞を果たした。 (スイス:ザースフェー)